

○ケース① 剣ヶ峰南西斜面から噴火の場合

火山活動の状況に応じた防災対応（噴火警戒レベル4から5）

噴火警戒レベル4または5が発表になった際には、噴火警戒レベル3<パターン3-4-U>の対応を行う。

噴火警戒レベル3 <パターン3-4-U> 警戒が必要な範囲 地獄谷火口から概ね4km が発表された場合	P.21
--	------

さらに、予想される生命に危険を及ぼす火山現象、警戒が必要な居住地域に応じて以下の対応を行う。








噴火警戒レベル4 <パターン4-火砕流> 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される場合	P.38
---	------

噴火警戒レベル4 <パターン4-融雪型火山泥流> 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される場合	P.42
---	------

噴火警戒レベル5 <パターン5-火砕流> 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している場合	P.50
--	------

噴火警戒レベル5 <パターン5-融雪型火山泥流> 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している場合	P.54
--	------

凡例（防災対応図内の記号・登山道について）

	規制を実施する場所
	通行禁止となる登山道・道路
	火山活動、安全対策の実施状況等により通行禁止を解除することがある登山道・道路
	通行可能な登山道
	通行可能な主な道路
	閉鎖施設
	防災対応が必要となる可能性のある居住地域